

普及だより いわき

サンシャインいわき!
笑顔あふれる
農林業をめざして!!

2021年
5月発行 No.156

編集・発行

福島県いわき農林事務所 農業振興普及部

住所 〒970-8026 いわき市平字梅本 15 番地

電話 農業振興課 (0246) 24-6160

電話 地域農業推進課 (0246) 24-6161

電話 経営支援課 (0246) 24-6162

F A X (0246) 24-6196

「福笑い」の本格栽培が始まります！

福島県オリジナル水稲新品種「福笑い」（品種名。商品名は福、笑いと「、」が付く）は、柔らかく、粘りや甘みが強く、粒張りが良いという特徴を持った本県のトップブランド水稲品種です。令和2年度の先行栽培を経て、今年度から本格栽培が開始されます。

令和2年度の先行販売では、想定を上回る購買となり、旨みや甘みが良いとリピーター客が現れるほどの人気でした。また、贈答用としての購入も多く、都内では販売会が2回開催されるほどの反響があり、さらに、料亭や旅館等のプロの料理人からも高評価をいただきました。

「福笑い」を栽培するには、認証 GAP を取得し、会員3名以上の研究会への登録が必要であり、県内各地域に合わせた栽培基準に基づいて厳格に栽培されます。一定の品質基準を満たさない「福笑い」は「福、笑い」の名称を使用して出荷できないなど、徹底した品質確保に取り組んでいます。

いわき市に設置した実証ほども、幼穂形成期に葉色から栄養診断を行い、生産者に対して追肥の有無を指導することで、品質基準を満たす「福、笑い」を生産することが出来ました。



収穫前の「福笑い」

農業振興普及部では、引き続き「福笑い」の栽培指導や生育状況調査を実施し、収穫後は食味・品質基準の達成状況を検証しながら、本県のトップブランド米として相応しい、誰もが美味しいと感じる「福、笑い」の生産を支援します。

「福笑い」の栽培に関心がある方は、GAP 認証の取得や研究会への登録等のご相談に対応しますので、地域農業推進課（24-6161）までお問い合わせください。



いわき地方で就農しませんか？

いわき農林事務所では、いわき市、JA 等と連携して、農地や研修先の確保、就農計画の作成支援や補助事業の交付等、個々の状況に合わせた就農支援に取り組んでいます。農業に興味のある方は、経営支援課（24-6162）までお気軽にご相談ください。

また、県では、農業に従事したい方をサポートするため、JAグループとタッグを組み、ふくしま農業求人サイト「みつかる農しごと」を立ち上げました。

農業法人等で働きながら技術を身につけたい方を「実習生」として農業法人等に紹介するサイトです。農業で働きたい方、また、「やる気のある人材を雇用したい！」という農業者側のエントリーを受け付けていますので、興味のある方は「みつかる農しごと」(<https://koransyo-nouka.jp/>) にアクセスしてみてください。



みつかる農しごと
QRコード

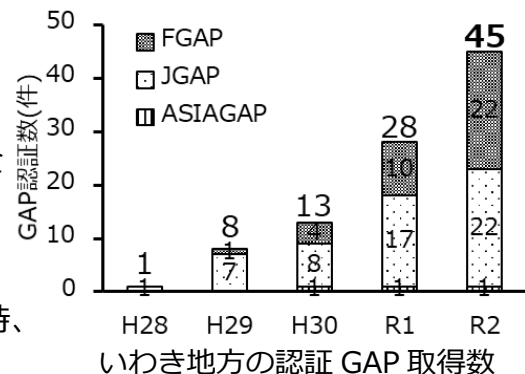
GAP の取組が広がっています！

農業振興普及部では、平成 29 年からいわき市、JA、流通業者とともに「いわき地方 GAP 推進協議会」を立ち上げ、生産・流通・消費の一連の流れにおいて認証 GAP の普及推進を図ってきました。

その結果、毎年 GAP 認証取得件数が増加し、令和 2 年度末で 45 件の取得数となり、認証取得した生産者からは「GAP 取得により農産物の安全性確認、従業員の意識改善につながった」などの意見があがっています。

一方で、認証取得者の長期的な認証 GAP の維持、消費者理解のさらなる促進が課題です。引き続き、流通業者及び消費者に対する啓発活動を実施していきます。

認証取得等に係る経費の支援制度（第三者認証 GAP 取得等促進事業）もありますので、認証 GAP に興味がある方は、経営支援課（24-6162）までご相談ください。



福島県指導農業士会いわき支部のご紹介

福島県指導農業士会は、「青年農業者の育成」、「地域農業振興の実現」、「魅力あふれる農村生活の実現」を図るため、昭和 52 年に発足した団体です。

福島県指導農業士会いわき支部は、小川町の葉ねぎ生産者である草野城太郎氏を新支部長とした新体制となりました。

農業振興普及部では、今後も指導農業士会いわき支部と連携し、若手後継者の育成等に尽力し、魅力あふれるいわき地域の農業・地域振興に努めていきます。

【令和 2 年度に御退任された指導農業士の皆様】

・高木茂寿氏（渡辺町 施設園芸、水稻） ・遠藤重和氏（渡辺町 水稻、施設園芸）

日本なしの「ジョイント栽培」の取り組みが始まっています！

ジョイント栽培とは、樹を連結(ジョイント)して集合樹として仕立てる技術です。ジョイント栽培は、慣行栽培と比較して、①樹形が一直線で単純となるため作業性が大幅に向上する、②苗木を植えてから5年目で早期成園化が可能というメリットがあります。



ジョイントV字トレリス栽培

令和元年度より平窪にて、更に省力化が可能となる「ジョイントV字トレリス栽培」の実証ほを設置し、当管内での生育や適応性を検証しています。

生産性・省力性に優れた「ジョイント栽培」でおいしい日本なしを栽培してみませんか？

興味のある方は経営支援課（24-6162）までお問い合わせください！

家族経営協定で働き方改革しませんか？

家族経営協定とは、家族一人ひとりがお互いを共同経営者として尊重し、意欲と生きがいを持って働くためのルール作りです。経営方針や給与、休日などを話し合っ決めて決めます。

農業者年金の国庫助成等のメリットもありますので、ご興味があれば経営支援課(24-6162)にお声がけください。

いわき農業青年クラブ連絡協議会に入りませんか？

いわき農業青年クラブ連絡協議会は、市内の若手農家、後継者、農業関連企業等で組織され、県内外への視察研修や子どもたちへの食育活動等、いわき地域の農業発展に取り組んでいます。

会員募集中ですので興味のある方は地域農業推進課（24-6161）までお気軽にお問い合わせください！

認定農業者になりませんか？

認定農業者制度とは、農業者が作成した農業経営改善計画を市が認定し、関係機関・団体の支援を優先的に受けられる制度です。国の融資・補助金の対象となるなどの利点があります。

認定農業者に興味がある方は、いわき市生産振興課(22-1148)または経営支援課(24-6162)へご相談ください。

今年も米のモニタリング検査を行います！

令和3年産米も、昨年同様、モニタリング検査により安全性を確認します。

いわき市内では、旧市町村ごと(37旧市町村)に3点のモニタリングを実施しますので、生産者及び流通販売業の皆様のご理解とご協力をお願いします。

詳細は、決まり次第、別途お知らせします。

農薬は適正に使用しましょう

農薬を使用する際には、以下に注意して適正な使用を心がけましょう。

- (1) 農薬使用基準の遵守
- (2) 農作物等への使用状況確認
- (3) 農薬使用者の安全確保
- (4) 周辺環境への配慮
- (5) 農薬の保管管理の徹底

農作業事故ゼロを目指しましょう！

農作業に最適な季節となりましたが油断は禁物です。春は農業機械を使用する機会が増えることから農作業事故が発生しやすい季節です。

農作業時にはゆとりを持ち、必ず安全確認を行いながらご家族等と一緒に農作業安全に取り組みましょう！

令和3年度農業振興普及部体制

ごあいさつ

東日本大震災から10年になりました。当部では、震災以降、いわき地域の農業振興と再生に取り組んでまいりました。今後も、10年間で得られた成果と残された課題について整理するとともに、あるべき将来像の実現に向けて、ひとつ、ひとつ取り組んでまいります。また、令和元年東日本台風から1年7ヶ月が経過しました。被害を受けた農業機械の更新や施設の復旧も進んでおり、引き続き早期復旧、営農再開に向けて支援してまいります。

本年度も、「ひとづくり」、「ものづくり」、「地域づくり」の視点から普及指導活動を展開することで、風評被害や気象災害、担い手不足等多くの困難を抱えるいわき地域の農業の振興・発展をより一層支援してまいります。

農業者、関係機関・団体の皆様におかれましては、引き続き、御理解と御協力をお願いいたします。
(農業振興普及部長)

職員紹介

令和3年度は、転入職員6名の計20名で皆様の支援に取り組めます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします(●が転入職員)。

部長 木村 昭則							
●主幹(兼)副部長 荻野 智代							
農業振興課		地域農業推進課		経営支援課		有機担当(兼務)	
課長	吉田 佳充	課長	土屋 貴史	課長	大甕 祥子	主任主査 高津 顕一	
主査	渡邊 弘俊	主査	熊谷 有子 (畜産)	●主査	諸橋 武明 (野菜特産)		
副主査	遠藤 雄大	主査	佐藤 雄一 (作物)	●副主査	大河原浩光 (果樹)		
●副主査	大友 庄平	技師	安田 貴則 (花き)	技師	鈴木 将稀 (野菜特産)		
技師	長谷川亮介	技師	佐藤 越萌 (作物)	●技師	飯尾友和子 (野菜特産)		
		●専門員	荒井 義光	技師	佐藤 寛人 (果樹)		

転入職員よりひとこと

荻野主幹(兼)副部長：いわき勤務は5年ぶり4回目になります。いわきの農業振興・地域の活性化に取り組んでまいります。

大友副主査：補助事業関係を担当させていただきます。初任になりますので、ご指導よろしくお願いいたします。

荒井専門員：農業総合センターを定年退職し、専門員として参りました。専門は作物です。いわきの勤務は初めてですので、よろしくお願いいたします。

諸橋主査：郡山の県中農林事務所からの転勤です。主に野菜特産と新規就農関係を担当します。いわきは8年ぶり2度目なので張り切って頑張ります。

大河原副主査：県中農林事務所須賀川農業普及所から参りました。専門は果樹で、中でもナシが一番好きです。いわき勤務は初めてですが、現地を歩いていち早く地域に馴染んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

飯尾技師：野菜特産、モニタリング等を担当します。普及は初めてですが、毎日勉強しながら精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。